



NO.844

2011.11.27

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八四三
四三・四四五八
F四三・四四五七

政権交代の原点否定!

民主・自民・公明

労働者派遣法改定案大幅修正で合意

民主党が、自民・公明両党との「三党協議」を通じて、継続審議だった労働者派遣法改定案から、製造業派遣・登録型派遣の「原則禁止」とする項目の削除、違法派遣があった場合、労働者に派遣先企業が直接雇用を申し込んだとみなす「みなし雇用」規定の3年先送りなどで合意しました。これは派遣労働者を保護する立場で派遣法を改正しようとするれば絶対に避けるわけにはいかない根幹をことごとく崩して、無意味、無内容な法案にするにほかなりません。これでは派遣労働者はまったく救われません。

2009年の総選挙で政権交代が実現した根底には、自公政権がすすめた「構造改革」路線で貧困と格差が広がり、国民から厳しい批判を浴びたことがありました。その中心が労働法制の規制緩和でした。

1999年に労働者派遣が原則自由化され、2003年のさらなる派遣法改悪で製造業派遣が認められるなか、非正規

これでは労働者は救われぬ! 抜本修正を求める運動を

日本共産党は政府にたいして抜本的な修正と、改定案の徹底審議を要求してきました。改定案が国会に提出されて以降、審議入りせず棚上げ状態が続いてきたのは、財界の抵抗と、自民、公明両党の反対によるものです。

民主党が、自民、公明両党に妥協し、

いよいよ東奔西走 敏勝

民主党が抜け穴だらけの労働者派遣法改定案を今度は自民・公明と妥協して原則派遣を認める構造改革路線に逆戻りする骨抜き修正に合意したニュースには驚きました。

この抜け穴、骨抜きの背景にTPP（環太平洋連携協定）の強硬な推進と共通な背景を持っています。つまり米国の市場開放要求です。06年の「日米投資イニチアチブ報告書」（日米両政府作成）で労働移動を促す重要事項として①従業員の確定拠出年金制度の活用拡大②解雇紛争の金銭解決③労働時間規制を緩和するホワイトカラーエグゼンプションの導入④派遣法の規制緩和の4点を挙げています。

TPPでは労働市場の開放が重要なテーマになっています。米国は日本の金融、保険、医療などへの米国資本の参入を求めています。そのもとで、日本の労働者を安価にしたいという米国資本の要求と、これに前端的に追従する野田政権という構図が浮き上がりました。この面からもTPP参加は許されぬし、小泉「構造改革」路線への回帰はごめんです。

普天間基地問題や消費税増税などに続く国民への裏切りは一層許されません。

松浦奮戦も せどし

吉田昌朗福島第1原発所長が12日、事故後はじめて報道陣の取材に応じ、テレビや新聞で「もう死ぬだろう」と思ったことが数度あったと報じられていました。

「号機から4号機まで次々と水素爆発が起きメルトダウン（炉心溶融）が相次ぎ、原発が「コントロール不能」になった「メルトダウンもほとんど進み、コントロール不能になる」という状態を感じ、その時に、これで終わりかなと感じた」と述べました。

原子力の専門家であり危険性も知っているからこそ、相当の不安と危機感を感じ、心労はいかばかりかと察するに余りあります。しかし、会見の中で、事故の引き金になった地震による全電源喪失が想定されていなかったことに関し「そういう想定がある意味で甘かった」と認めました。

問題は、今も放射能は放出され続けているという事実で、一刻も早く止めて収束させなければなりません。そのためにも何が必要なのか英知を出して収束にくけて取り組んで欲しいものです。

流水

政府がまた仕分けの作業を行いました、今度の仕分けは「提言型政策仕分け」と言って原発分野もとりあげていますが、

一部のマスコミは「消費税増税をめざす野田佳彦首相が『無駄の根絶』をアピールするため導入を指示した」と報道しています。

▼「無駄の根絶」はアピールするだけでなく、実際にすすめていく必要はありません。なんとか繕って原発の再稼働を目論んでいる政府の政治判断は先が見えています。仕分けで迂回しなくても、国会できちんと議論すればよいでしょう。

▼他の新聞には載りませんでした。が、しんぶん「赤旗」17日付には、参議院予算委員会で「原発の無駄」について、熱い論戦が行われていたことが報道されています。

共産党井上哲士議員が「使用済燃料再処理積立金」など「原発埋蔵金」といわれるものが5兆円以上あり今後19兆円まで膨らむと指摘、青森県六ヶ所村の使用済燃料再処理工場、プルサーマル計画、高速増殖炉「もんじゅ」の実態をしめして、再処理工場は18回も完成期日を延期、「もんじゅ」は16年間でわずか250日しか運転されず、それでも1兆円をこえる設備投資、1日4000万円の維持費という莫大な「無駄」使い、政府も認めました。▼これらの無駄をやめ苦しんでいる原発被害者の「救援、除染」を急げ! 現実的で道理ある提言ではないでしょうか(兎)